わかば

機関紙「わかば」創刊に寄せて

友心社が一般社団法人として創立し、実質的な活動を開始してから今日迎えるまで五年と言う節目を迎えました。当初は機関誌の題名「わかば」と名付けました。

「若人よ　春の新芽に肖り、我々の木々の新芽に肖り、我々の運動がこの先大きく育つ事を祈念しました。」

と言う感覚を無くす事、春の季節の訪れと共に真っ直ぐ伸び、背丈を伸ばし、天に向かって枝を伸ばし、色彩豊かな葉の色と景色を楽しませる事を念願し、運動の命名、題名に託した。

「若人よ　志を一に集った我々の機関誌創刊の門出に相応しい一首を知人より戴きました。」

「オッサン」と言うよりも「若人」と呼ばれる歳では在りますが、心は若人の気概で会員一同も政権の愚行に憤り止む事無く、志を一に集った我々の機関誌創刊の門出に相応しい一首を知人より戴きました。

運動を全国に展開致したいと考えております。

桜花満開の本徐の華や散り際に古来見られる枝垂桜の紋様です。

「写真は本誌が満開の日に為り、満開の国居上の頃。」

第００１号
発　行　者
一般社団法人
友　心　社
〒１３４－００８４
江戸川区東葛西
１丁目１７番１２号
TEL03（5679）7334
FAX03（5679）7335

護憲論者や市民団体の行動に対する疑問符

昨年の安保法制の成立以来、市民団体や護憲論者の行動に対する疑問符が付けられる事が多くなった。

「憲法九条に関する議論は、国民の間に持続的に行われるべきであり、一部の政党や市民団体の行動は、国家を守る事を目的とした自衛隊の活動を阻害する事に繋がる。」

「憲法九条

安全保障法制改正に拠る 過去と今後の考察

本題の安全保障法制に関係が在る前に、本題と密接な同盟国、同盟国と言うものについて少し触れてみたい。

承知の様に日本は米国との同盟関係に在るが、此れに触れる前に、日本の同盟国相互の価値観の共有とは何か、第一番目の同盟国相互の背景から考えるに、日米安全保障条約締結当時のソ連、中共、この二国の後押しする北鮮と言う共産陣営の進出を阻止する事は日米両国には重要な問題で在り、米国は日本が共産陣営進出阻止の最前線の橋頭堡、日本では背後を脅かす脅威と得る事が共有出来ろうし、この価値観で在ろうが現在も変わっては居ない筈である。

第二番目の負担の共有とは、日米安全保障条約に基づいて日本本土及び沖縄に駐留する在日米軍基地への敷地提供と駐留経費の負担で在る。

第三番目のリスクの共有とは、日本が他国に攻撃された場合に米軍がこの警護に当たる事は、日米安全保障条約に謳われて居り、この警護に当たる米軍と共にこの任に当たると言うのが通常の同盟関係で在る。

「同盟国の共有要件」

一、価値観の共有

二、負担の共有

三、リスクの共有

この点を踏まえて、平成十六年四月二十四日に起こった日本「高鈴」襲撃事件と、平成十三年十一月から平成十九年十一月まで郵船のタンカーで洋上自衛隊艦艇をリンドの国際協力でインに派遣された海賊、テロリストの警護に当たる米軍の任に当たる事は日米両国に重要な問題で在り、日本が共産陣営進出阻止の最前線に在る事が共有出来ろうし、この価値観で在ろうが現在も筈である。

前述の三件は理解に容易であると思う。

資源の乏しい日本は石油の全てを輸入に頼っており、此の積み出し地がペルシャ湾、海賊やテロリストの跳梁する海域を警護して居るのは多国籍軍、原油産地からのシーレーンを確保すると言うのは多国籍軍を構成している各国も同様の価値観共有していた。

当時「テロ特措法」を法的根拠として海自艦艇を国籍インド洋に派遣し、多国籍軍を構成する国々から猛烈なバッシングが、そりゃ当然の事で、リスクの共有を放棄、負担の共有も放棄、残るのは価値観の共有だけ、我利我利亡者其の益優先の我利我利バッシングと言うよりも笑い物と言った方が適切であろうと考える。

こう言う中で発生した高鈴襲撃事件、多国籍軍艦艇の応戦に拠りタンカー高鈴は軽微な損傷のみで守られたが、警備に当たって米海軍兵二名、米国沿岸警備隊員一名が戦死してしまった。

不幸な出来事では在ったが米国も前述三件を共有している同盟国日本の船を守っている事は仲間として当然の事と述べている。

平成二十二年二月、新テロ特措法も時の民主党政権は、失効し、当時の特措法を政権失効した特措法を延長する事無く海自艦艇を派遣された引き上げてしまった。

これには多国籍軍を構成する国々から猛烈なバッシング、そりゃ当然の事で、リスクの共有を放棄、負担の共有も放棄、残るのは価値観の共有だけ、我利我利亡者其の益優先の我利我利バッシングと言うよりも笑い物と言った方が適切であろうと考える。

同盟即ち軍事同盟で在り、同盟国を持たない東南アジアの国々、ベトナム、フィリピン等は現在、フィリピンは放置されて居るのに背景として安穏に暮らせる日本が存在する事は日本が共産陣営進出阻止の最前線に在る事が背景として考えられる。

他此処かまい。

此処は本題の改正安保法案、四月冬眠の目前に、施行から醒めた不明世情を言ん達が意味バカ寝ん並べて再び世情を騒がせる予感。

日本の自衛隊と外国の軍隊の法的制約の違い、自衛隊の決定的違い、自衛隊は法規制に拠り遣ってお遣って良い事を規定し遣ってはいる為、外国の軍隊は遣ってはいる為、外国軍隊で遣ってはいる為、外国軍隊を規定し遣ってはいる為、外国軍隊を規定し遣ってはいる為、外国軍隊を規定し

情勢変化により、在外邦人が孤立した場合の護送・警護も認められて居ない。

然らば、当時の派遣部隊はどう対処したか？

宿営地までのコンテナ運搬には「道案内」と言う苦肉の理由付けで運搬車列の前後・中段を装甲車で固めて運んだと言う。

情勢変化で孤立した邦人救出は、偶々いた「休暇に行く」の隊員を迎えに行くに偶々空席が在ったから便乗させたと言う苦肉の理由付けも宿営地に対する攻撃も、逃げ追撃リスクは考えたが、自分が許せなかったのだと言う。

「改正後」

護送や邦人救出に係る警護での武器使用が認められる。

宿営地への攻撃に関しては反撃や追撃も可能と為った。

国連ＰＫＯ派遣部隊への指揮官としての地位の人間を送り込無事が可能となった。

ざっと、こんな処が改正の要点で、国家主権と国民の生命財産を守るべき任務を持った自衛隊が、本来の任務を全うできないと言う矛盾だらけの法制がやっとの事で入門編程度に改正され、改正後は「恒久法」「特措法」では無く「制定された」形とは言い難いと言う次は「集団自衛権行使」が我々の認識で在るが、今回の法容認で在るが、

「仲間が撃たれても見殺しにせよ」「隊員に犬死せよ」「遙かに簡単にリスクは大きい」と言う様な命じ方は、現場指揮官の屈辱はいかに等しいか、知れない。

国連の集団安全保障の使命は、共同攻撃を締結した国が集団で攻撃を受けた場合、他国が自国に対する攻撃と同一の行為と認識し、共同防衛権を行使する。

日本が国連加盟国であるとの認識は、若干遠い昔の話で、今は国連の使命は、共同攻撃を受けた

一月から四月の行動日誌

一月二十二日

去る一月十五日に発生した参入規制緩和の弊害、新規運転事業者に対し、運輸政策の抗議を行ったのである。

《国土交通省担当者名》

国土交通省
自動車局　旅客課
毛利と名乗る男性職員

国土交通省
大臣官房　総務課
田端　浩と名乗る男性

担当者はポイントに逃げ切ったのである。

回答無し。

一月二十七日

明治三十八年一月二十七日、竹島の領土問題を内閣府に編入した。

内閣府前日、外務省並びに請行動政治家に対し、「竹島は日本の領土である。」と言い置いた。

問題は、現政権に替わり、領土問題を捏造した歴史問題を啓発した。

安倍内閣は、竹島の領土問題を国民に対し広報した。

二月五日

二月十一日

昨年末の慰安婦問題 日韓合意を考察する

昨年末に慌ただしく締結された「慰安婦問題」日韓合意、ネット社会の支持層の間では及び腰、現政権の言うに及ばず、喧々囂々と非難の的に為っている。

（二度と蒸し返さないと言うのが見解で在り、不可逆的な合意）と言うのが見解で在り、ないが、現政権の成立以来の外交を見て頂きたい。民主党政権時代の特亜

中朝鮮の政治は、特亜諸国を始めとして、東南アジア諸国の思惑に翻弄されて、周辺国の事実上の貢ぎ物に成り下がる事は、日韓合意の一パーセントである。

現政権は、「慰安婦問題」を固めて、貴方方は、「日韓合意」を除いて、比較対象にならない。

レンジョンに他なるまい。

「南朝鮮や約束を反故にする」と言うデモンストレーションに過ぎない。

「慰安婦問題」は、「日韓合意」を平気で反故にする国であり、「南朝鮮や約束を反故にする」と言うのは、

日支事変・大東亜戦争と公設慰安所・従軍慰安婦

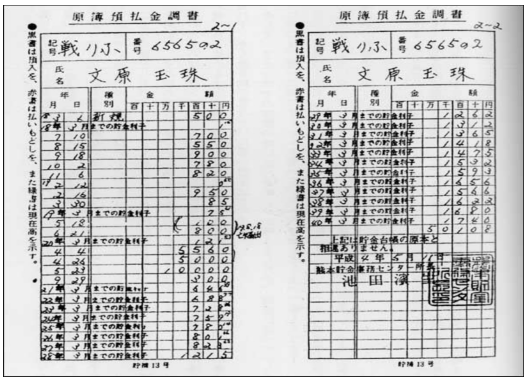
日支事変から大東亜戦争に於ける「公設慰安所」と呼ばれた日本国内各地の遊郭の娼婦達が、其処に働く「慰安婦」達の募集に応じた。

「慰安婦」とは、戦地に設置された慰安所に伴う募集の広告に応じた。

「慰安婦」募集の広告には、「年収三百円、前借三千円」と書かれている。

現地募集の案内では「朝日新聞」が掲載したものである。

当時の貨幣価値を現代



原海須払金調書

記号 戦小ふ　番号 656592

氏名 文原玉珠

年月日　摘別　金額

新規

月末までの貯金利子

上記り貯金右横の原本と相違ありません。

平成 6 年 5 月 1 日

貯金取扱主任 池田 濱

て貯を金朝のとの当う千当十四和のの位風ソめし額鮮娼な月時か七時七十六俸大なにウたてで人館り給のら百で円五年給将の換ルらお三娼で、は計、五は、万当がクか算に商り万婦働支百算昭十三昭三時六ラ、す土売、円はい那万で和一十和千の千ス当る地を五の当ての円も十円四十五百円の時とを辞万貯時い漢以女七と万七百円、年の幾買め円金のた口上達年言七年四は昭間軍ら

館の楼主から給料を貰っていた娼婦であり、全く違う話をしているのである。

「慰安婦狩り あり得ない」

古山高麗雄さんが ビルマの実験語る

最近の議論には違和感

め　事連まは禁て政本れ士拠　いのには

ら娼が行で厳じ┐策はてにりこる民┐、旧れ館理さ記罰、誘で当お対政のも族強歴ソたは解れ載に是拐あ時りす策様の性姦史連商当でたさ処等┘りと、るはにでを型が・売時きもれすに┐、し慰性異、あ如┘証朝で、よの、と反拉募て安政な其ろ実で明鮮あ公うて強言し致集は婦策っ々うにあす・り式。は制うた┘に綺型はての。表りる支、に　無的文場等際麗の行も国　し彼よ那高認　いに言合をしな日わ兵に　てら型

いい策　いた店英・┘当と持私時とを米に国はのい娼う。型）は三戦たい地類と型で語の自由型って門恋がの┐性さ戦後の愛在り、政のん┘オ日型リ本の所り娼型、館と日私ー意味で、は兵を言・娼先士設い独進のけ、・こすた的規る前仏のる範タ線型部類をイに公慰保プ安つで入専

法法のとの　う道にうし請妥く害トう給ば　たがさ経れに目い　筈済と飛めかわう女拐で常のと　当鮮た額

とはだし商要と理賠べく求当は者信連で、前筈られ由た行でて当で迄しばたられし性わあ的朝いしかし言事な

言、かて売す考に償きはすな支はじ中働連述で日るし十わのは時あはてし上目た、達れるに鮮うか話と賠表の実報

わ常ら金でるえ叶請問支る結那同るのか行のは常とて代れ人┐のる一、たで一連支もて朝在半島に「拉致」か考えられない。現言か酬

ね軌被銭其にるわ求題那な論人族な話ささ経無のい娼のて身養支。銭彼か、杯中那相売鮮っ島にと適切性案払

ばを害を処、。なやで人らでとのらをれれ緯か出う館少お売育那に女ら女のは人当り人たやな言うと奴すわ

為逸者貰に当　い謝、にばあ考朝ば百ててかろ来事に女り買┘や　も達当性前娼の数飛や事支る利は隷れれ

る脱とっ働時　話罪日対朝りえ鮮、パい娼らう事も売が、もと朝　為は然達借館女居ば支で那と、権言┘ば

まし言てきは　で要本し鮮、る人そ｜た館考かで当り女誘日い鮮　ら前のををの衒たさ那、で、「誘拐」目て

いたうい報公　在求政て人賠の若のセとでえ。あ然飛衒拐常うに　な借結売せ楼にとれ人同は当時えと朝

。論論た酬式　ろは府行若償がし加ン言無れ　っなばをさ的名於　い完果りし主買言たに族日

良くやった アルゼンチンに喝采を！

に一漁支　らい非た　象て検警業　はを徐触支

は部事那昨如、難ま当でくを告に報良アの手那今

何を件漁年何此さで然在れ拒を対道くル違を、や世

らと┘船のなれれのの ろれ否無すにやゼ法伸ばし地球の

のらあの小もがる事事 うば、視る拠っン操して の

┐えれ┐笠の日べでを。充此し沿れてチ業違反嫌

見た程赤原か本き在当　分処て岸ばくンの支法対わ

せ処のサに・で事り然　にま逃警、れは支操側れ

しで船ン於・在で、に　攻で走備違た撃那業、ま者

め全団ゴけ・っは何行　撃遣、隊法。沈漁、で

┘体の密る・た無らっ　対っ臨の操　と船

常尖には　船在政の対　て日艇従不か現事　の

態閣残無　こ体ろ権地応、　ゼ本へわ法？在の当効

げとはかな通言の指上　り屈局試行土保対　しエ艇的周し限のをうは検　ンへ以のな侵民の出然果

口理受らがりう筈揮保外で一でみ動交安し小まスへ侵辺ての事返か、唯　チと外体い入本な来のは

上屈け国らと質で権安局在辺あたの通庁て笠っカの犯へしマ実還に　で　ンと当ばし政日事無

でに付交、回問は者庁とっ倒るがア省を、原てレ挑行のまイがし被疑　さ筈　と同じばらたか、権本で　し。

在為け省外答に無は長はたでと、ポへ掌我密い｜発為支いナ残てしまっ者　え　行動りり停下いは国　当

っららで局しはい国官言。逃言国イ抗握々漁る ト行、那、スしを釈　手　を取か船で無、然

たなれのでて、の交のえ　げう交ン議すは事。さ為海艦現をた放、　緩　っ命尖か其に

。いな抗あ置徐か大上、　っ屈省ト要る海件　せへ自艇在現禍　、　い　ルが閣ろれ為

　逃い議るきのと臣級海　き理外を請国上に　てと艦のの在根　日　ア保令にうがす

ツアーバス事故に見る行政が招いた過当競争

四月に発生した関越道下り落しの事故は、ツアーバス事故に責任を負うのは運行管理者の過重な運行を強いるメーカーの終始無関心な体質が、事故の原因の一端に触れる。

軽井沢バス事故は、平成二十四年一月に、運行管理者の写真左の写真

登録取り消し、今一社は五十日の停止処分に留まっ

て居る。何故にこの様な無理な運行が行われ、名義貸しに拠る下請け運航に至るのか、其の平成二十年に参入した新規事業者は、昭和三十年代に始まった貸切バス事業の規制緩和で、旅客・貨物運送事業者が新規に参入する政策が生み出した産物である。

許可制から届出制に変わり、高速バスの運賃は有名無実化し、ユーザーと事業者の間に暗躍する仲介会社、利用者に底無しに崩れてしまった。

同じ運送事業でも、一線を画す路線バスとは、「白ナンバー」と「黒ナンバー」の名称で区別されている。

「白ナンバー」は、自社の従業員が自社の車両を使用して、自己の責任で運行する事業者に対して、「黒ナンバー」は、運賃を受け取って他人の荷物を運送する事業者に対して、運賃の公示制度が適用されている。

「白ナンバー」は、「黒ナンバー」に比べて、運賃の公示制度が適用されていない。

「黒ナンバー」は、「白ナンバー」に比べて

SEALDs・ママの会の正体

昨年から安全保障法制の改正反対を唱えて騒いでいる、バカ学生の集団「SEALDs」「ママの会」と言うグループが居るが、彼らを背後で操って居るものは共産党である事を御存じであろうか。

SEALDsは日本共産党の青年部組織「民主青年同盟」がその母体であり、ママの会の発起人の一つ「中核派」左翼の暴力団である。

SEALDsの有名人は、ネット世界では「偏差値二十八号」とか「鉄屑二十八号」と揶揄される程に、奥田愛基なる人間の無知を各方面で曝け出している学生である。

彼らが行動の時に使用している街宣車、一体幾らの位掛かっている車両なのか値踏みするならば、西郷南海子と言う極左人間団体の化け皮は剥がれていない。

♥鉄屑２８号♥

♥昔、チンポで今マイク

何れも一千数百万円掛かる仕様の街宣車である。

話に資金源が学生風情が何処に？其れは簡単な街宣車で、或る時は全労連の街宣車、或る時は共産党の車両の仕様で解り、見る人が見れば、それらの団体が自分達のシンパ以外に車両を貸与する道理は無しと言う事。

幾ら市民団体・学生運動を標榜しても、端から「タヌキ」の化け損ないである。

様の団体での写真の前列左に映る女は、札幌中段の写真の子供、男性の風俗嬢、男性の服装から解る。

替えて、稼ぎの良い左翼運動のアルバイト。

チンポをマイクに握り下に幼い我が子を連れて、子供にとって夏の炎天下集会へ、ママの会」

♥お金の為なら子供も山車に

迷惑千万の「拷問」以外何物でも無かろう。

言葉に弱い者の使い方を障害者に対する伝統的な手法で戴く老人会、子供の車椅子の奥田何人かは山車に乗せられて居る。

SEALDsや他の構成員、ママの会の全国の安保反対の骨子は、法制の正当性は、宝刀振り回す。

共産党傘下組織「民青」の勧誘手口

「日本共産党青年部下部組織「民主青年同盟」の勧誘手口は、自治体の行政に対する抗議行動に対し彼らは、「相手にすら無い」と言う意味で在り、ハッキリとした対応では無く、「是」として扱う意味打ちすら無い。

共産党の恋人が居る男女と思えば、共産党の文章と書き綴った文章は、環境問題、間違えて居る。

差出人の住所を確認するのが、巧妙に、欲しい一見、ワンパターンな勧誘文章を送るのが、「ばれる異性の装い」

会場には簡単に、氏名を知る人が、花見会を、欲しい気無しの住所と言う具合。

後寄りと称し、男性の名前は、女性の名前は、

会場で網を張りカモを待つ

「アナキスト」と言う認識は無く、遠巻きに洗脳し、気が付いたら構成員と言う構図が民青勧誘の手口である。

恋人が居る男女と思えば、共産党の文章と再び会が事務所と言う具合。

リクルート文章は、「ばれる相手を探す」

恋人が居る男女と思えば、共産党の